

来月1日から運用開始

マイスター職長制度創設

大成ロテック

大成ロテックは、協力会社の中から優秀な職長を認定して報奨などを付与する「マイスター職長制度」を創設し、11月1日から運用開始する。初年

度は全国10支社から舗装工や土工など約30人を認

定する予定で、同制度を通じて担い手不足に歯止



マイスター職長を表わすステッカー

めをかけた
いとしてい
る。同制度
は、安全衛
生環境協力
会の正会員
企業のうち、施工を

手掛ける約200社の中から選ぶ。対象は現場事務所から推薦を受けた68歳未満の職長で、推薦を受けた職長はその後、本社を除く全国10支社の審査を経て、認定を受ける仕組み。道路舗装業界でも初の取り組みという。認定基準は、5年以上の勤務実態（10年以上の実務経験）があり、同社が定めた教育を修了した職長から、入札時の工事成績評定点の底上げや安全活動などに貢献した者。初年度は約30人を予定し

ている。次年度以降は制度による効果を検証したうえで増加するほか、マイスターよりもさらに上級の「スーパーマイスター」創設も視野に入れている。

認定を受けた職長は報奨金を付与するだけでなく、ヘルメットに貼り付けられるステッカー（下地が銀色）を配布して現場内で目に付くようにしている。有効期間は、年度初めから年度末までの約1年間（初年度は約5か月）。同時期には、独自の

職長研修も開始してマイスター職長の養成にも力を入れるなど、制度を通じて「次世代技能者のモチベーション向上と担い手不足に歯止めをかける」（同社安全環境品質部）考えた。

報奨金額は次の通り。
▽20万円（年間就労日数200日以上）▽15万円（150日以上200日未満）▽10万円（100日以上150日未満）▽5万円（50日以上100日未満）